

みんなとともに笑顔いっぱい - 「学びあい」「認めあい」「高めあい」 -



みんなとともに



まずは、16日(水)夜の福島県沖の地震で被害にあわれたご家庭にお見舞いを申し上げます。また、急な臨時休校となりましたが、それぞれに対応をしていただきましたことに感謝申し上げます。さて、「みんな忙しいから私がやるよ」のひと言から始まった校長作成による「学校だより」ですが、今号が「最終号」となりました。計「192号」を発行しました。これまでのご愛読に御礼を申し上げます。



「学力向上」への取組の成果について - 「ケの日」の営みの積み重ね-

「標準学力検査 NRT」の結果が届きましたので、今年度の営みの成果の一つとして、結果をお伝えします。なお、「学力」には様々な側面があり、その「一側面をとらえたもの」であることをご理解ください。

1 全国と比較して「本校の学力」はどの程度か。 *あくまで「学年平均」の比較です。

	教科総合	国語	算数	+α度
1年	◎	○	◎	・
2年	◎+	◎+	◎+	◎
3年	○	◎	○	○
4年	◎	◎	◎	◎
5年	◎	○	◎+	◎+
6年	◎+	◎	◎+	□
全体	◎	◎	◎	◎

【この表の見方】

「学年平均」を全国平均と比較しています。なお、数値ではなく、記号で表しました。

◇「教科総合」「国語」「算数」について

- 全国平均と ほぼ同じ
- 全国平均より1~3ポイント 上回っている
- ◎ 全国平均より3~5ポイント 上回っている
- ◎+ 全国平均より5ポイント以上 上回っている

◇「+α度(教科-知能)」について

- 持っている力と同程度の学力の発揮
- 持っている力より1~3ポイントの伸び
- ◎ 持っている力より3~5ポイントの伸び
- ◎+ 持っている力より5ポイント以上の伸び

2 個々の「持っている力」を十分に発揮しているか。

	持っている力までの学力を身に付けていない児童 (アンダーアチーバー)			持っている力より高い学力を身に付けている児童 (オーバーアチーバー)		
	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減
2年	(1人)	・	・	(10人)	・	・
3年	3人	1人	-2	8人	12人	-4
4年	2人	1人	-1	6人	11人	-5
5年	1人	2人	+1	7人	4人	+3
6年	2人	0人	-2	7人	9人	-2
全体	8人	4人	-4	28人	36人	-8

〈分析〉

- 本校児童の「持っている力(知能)」は全国平均と同程度であるが、その力以上に「学力」を高めることができた。特に、算数科において、最終目標としていた「偏差値56」を超えた学年が「3学年」あり、これまでの指導の蓄積が成果となって現れている。
- 「持っている力」と「同程度」または「それ以上」の「学力」を有する児童が「94%」である。特に「持っている力」より高い「学力」をもつ児童は、どの学年もほぼ「4人に1人以上」である。

【校長のつぶやき】 その115 ^{しま}「ベスト1」

「校長のつぶやき」も今回でお終いになるが、最後に自分の中の「ベスト1」を紹介したい。それは「その4.2」でつぶやいた「校長のしている景色」である。皆さんからの批判を覚悟で「私はワンマンである」とつぶやいたが、そこには今もお変わらぬ「信念」がある。それは「校長の仕事は決めることである」という考えである。(「ワンマン」とは「聞く耳」を持つワンマン」という意味ではあるのだが…)

この4年間、本校の教育目標である「みんなとともに 笑顔いっぱい」の学校をつくるために、私なりに尽力をさせていただいた。目の前には様々な「選ぶ」場面があったが、「校長のしている景色」に照らして「決める」という行為をしてきた。決めたことのそれぞれに「賛否」はあることとは思うが、すべては決めた「私の責任」である。ただし、すべての根幹には「みんなが笑顔」という「公の心」があったことは申し述べたい。

校長が変われば、「その校長のしている景色」で「決める」という行為をしていく。それは「変化」も意味している。4月からまた「新たな営み」が始まる。これからも保護者の皆様の変わらぬ応援をお願いしたい。